

七  
望岳山荘  
い  
じ  
め

人それぞれの体験に  
もとづく訴えや、いわ  
ゆる美文調を綴ること  
は、さして難かしいこ  
とではないけれど、そ  
れらの文章はどこか表  
層を流れ、人の心を  
とらえるものではな  
い。書くことの楽しさ、  
もしくは辛さ以上に、  
その怖さを知っている  
人の文章こそ、多くの  
読者を惹きつける。

『市民タイムス』創  
刊二十周年を記念し  
て、このほど発行され  
た中野幹久著『みすず  
野』(市民タイムス  
刊)を読了した私は、  
わが郷土に人あり、の  
感を禁じ得なかつた。  
普段、郷里を離れてい  
る私は、迂闊にも本紙  
のコラム「みすず野」  
が同紙の編集局長とい

う。『みすず野』を一貫  
して流れるトーンは、  
松本平をはじめ安曇野  
や諏訪湖畔が生んだ多  
彩な人物像と市井の人  
ひとへの濃やかな愛情  
であり、それはこのコ  
ラムでとりあげられた  
人びとについての個々  
の描写や犀川のハクチ  
の文章によく出で  
ていていることを、つい  
最近まで知らなかつ  
た。幸いにして私は、  
当時の新聞コラムニス  
トとして名を馳せた  
夫氏や『朝日新聞』の  
荒垣秀雄氏らの生前の  
御様子に近くで接した  
ことがあるけれど、こ  
れらの名文家の日常  
は、コラムの執筆にの  
みほほ専念されていた  
のであった。そのことを  
想うとき、中野氏の  
業績は、驚嘆に値しよ  
う。

『みすず野』は、『松本の名水』な  
ど、親しい方々の素  
性を改めて知ることも  
ことができよう。同時に  
、「水と油に」排他  
板に、「松本の名水」な  
どの文章によって知る  
ことができる。同時に  
にお会いしている警田  
・伊藤淳一氏の若き日  
代りへの秘められた情熱  
であり、それは「街に  
せせらぎを」「無法看  
板」「松本の名水」な  
どの文章によって知る  
ことができる。同時に  
に、「水と油に」排他

本書の特色として  
、ミヨを題材にした「北  
からの使者」などによ  
く表われている。もう  
一つのトーンは、美し  
く調和のとれた街づく  
『読売新聞』の高木健  
氏のこと、毎月のよう  
に会いしている警田  
・伊藤淳一氏の若き日  
代りへの秘められた情熱  
であり、それは「街に  
せせらぎを」「無法看  
板」「松本の名水」な  
どの文章によって知る  
ことができる。同時に  
に、「水と油に」排他

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の

第三は、著者の国際  
感覚であろう。わが国  
の多くのソ連専門家で  
さえ見誤った去る八月  
のソ連政変を、その直  
後に「三日天下か」と  
予測したジャーナリストは、著者を含めてご  
く少数ではなかつた  
著であり、私もよく登  
場本峰への山道にあ  
る飛驒領主・三木秀綱  
の女房の碑の背景を教  
えられた「現代の峰  
道」、女鳥羽川畔に今  
は鐘楼のみを残りと  
は無縁の豊かな詩情の